



第54期 中間事業報告書

平成16年3月1日～平成16年8月31日

海底から宇宙まで

FURUNO

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社の第54期上半期(平成16年3月1日から平成16年8月31日まで)が終了いたしましたので、ここにその事業概要についてご報告申し上げます。

(上半期の事業概況について)

当上半期の経営環境は、海外では、米国経済が好調な個人消費と設備投資の増加により高成長を維持し、欧州経済も総じて緩やかな回復基調にありました。また、中国の高い経済成長に加え、アジア諸国も引き続き景気の拡大が見られました。

一方、日本経済は、世界経済の拡大に伴い、輸出や設備投資が増加し、個人消費も緩やかな回復を示すなど、堅調な景気回復が続きました。

当社の主要製品であります船用電子機器の分野につきましては、商船市場では、日本、韓国、中国における新造船ラッシュとSOLAS条約(海上人命安全条約)による新規の設備需要に支えられ、国内外ともに売上が増加しました。また、プレジャー市場では、米国の市場が拡大しました。一方漁船市場は、国内の厳しい状況に加え、海外では欧州市場が低調に推移しました。

産業用電子機器の分野は、公共関連機器が低調であったものの、産業用ロボット制御機器やGPS関連機器が拡大したことに加え、医療用機器の伸びもあり、全般的に好調に推移しました。

この結果、当上半期における業績は、

連結では 売上高	376億5千1百万円
	(前年同期比5.6%増)
経常利益	31億1千9百万円(同1.3%増)
中間純利益	29億4千8百万円(同19.0%増)
単独では 売上高	294億4千5百万円
	(前年同期比6.8%増)
経常利益	15億9千5百万円(同0.6%増)
中間純利益	10億7千2百万円(同17.0%増)

となりました。

当期の中間配当につきましては、去る9月21日の取締役会におきまして、1株につき5円とさせていただきますことを決議いたしました。

以上、当上半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

(通期の予想について)

今後の経済情勢につきましては、企業業績において過去最高を記録する企業が増加するなど、国内の景況感に着実な回復基調が見られます。また、イラク情勢や原油価格の高騰、米大統領選挙の動向など、世界経済は依然不透明な部分があるものの、拡大傾向が続くものと予想されます。

このような状況の中で、当社は、一層のコストの削減と業務効率の向上を図る一方、新商品の開発、販売サービス体制の強化を推し進め、引続き競争力を高めていく所存です。

船用電子機器分野におきましては、商船市場は、新船建造ブームを受け、売上は引続き好調に推移すると見込まれます。漁船市場については、漁業資源の減少等により、厳しい状況が続くものと思われる。また、プレジャー市場については、米国がオフシーズンに入るものの、売上は堅調に推移するものと思われる。

産業用電子機器分野におきましては、国土交通省のETC利用促進策を背景にしたETC車載器の売上の増加を見込んでおります。GPS関連機器については、輸出増加が見込まれるものの、国内市場は、競争激化により売上が頭打ちになる見込みです。医療用機器分野では、好調な受託生産の大型生化学分析装置に加え、自社開発の小型分析装置の販売回復を見込んでおります。また米国コンビメートリックス社との提携によるDNAチップ合成装置に新規参入するなど来期以降の事業拡大に向け注力してまいります。

また、為替相場については不透明な要素があるものの、下期も現状の為替水準を挟んだ展開になるものと見込んでおります。

通期の業績につきましては、

連結では 売上高	750億円(前期比9.3%増)
経常利益	45億円(前期比3.9%増)
当期純利益	30億円(前期比11.1%減)
単独では 売上高	600億円(前年同期比11.3%増)
経常利益	26億円(同29.6%増)
当期純利益	18億円(同44.5%増)

を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年11月9日

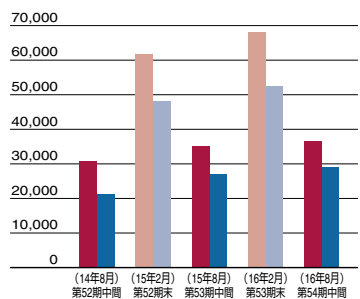
代表取締役社長 古野清之



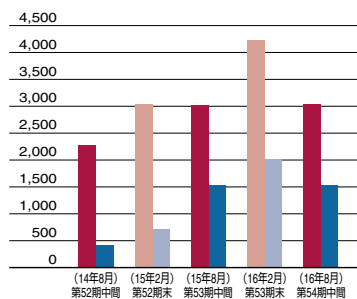
業績ハイライト

連結 ■ 中間 ■ 期末
単体 ■ 中間 ■ 期末

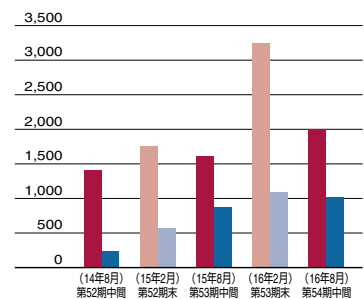
売上高 単位:百万円



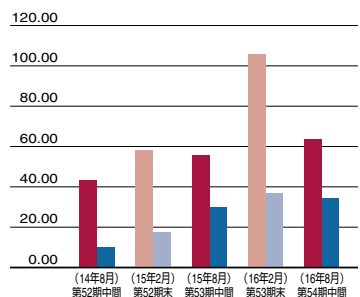
経常利益 単位:百万円



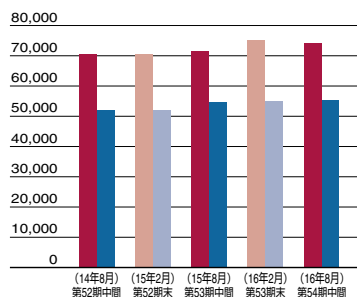
中間(当期)純利益 単位:百万円



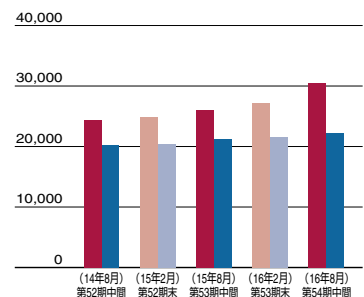
1株当たり中間(当期)純利益 単位:円



総資産 単位:百万円



株主資本 単位:百万円



		第52期中間(14年8月)	第52期末(15年2月)	第53期中間(15年8月)	第53期末(16年2月)	第54期中間(16年8月)
売上高	連結	31,663	64,043	35,667	68,628	37,651
	単体	22,929	47,665	27,561	53,929	29,445
経常利益	連結	2,358	3,020	3,079	4,332	3,119
	単体	474	816	1,585	2,006	1,595
中間(当期)純利益	連結	1,458	1,862	1,721	3,374	2,048
	単体	276	535	916	1,246	1,072
1株当たり中間(当期)純利益	連結	45.83	58.64	54.41	104.19	64.78
	単体	8.70	16.87	28.96	37.50	33.90
総資産	連結	70,113	71,955	72,079	75,436	75,866
	単体	53,994	53,940	53,053	54,447	55,600
株主資本	連結	24,826	25,295	27,291	28,492	30,448
	単体	20,078	20,211	21,193	21,583	22,544

事業報告

船用電子機器

事業概況

船用電子機器部門では、国内外ともに商船市場向けの売上が大きく増加しました。中でも、統合航海システム（INS）を中心とした大型の機器の売上が伸び、加えて航海データ記録装置（VDR）も順調に売上を伸ばしました。

一方、プレジャー市場は、イラク情勢の影響が懸念されましたが、米国で堅調な個人消費に支えられNavNet（航法装置や魚群探知機をネットワーク接続したシステム）の売上が増加しました。また、国内では株式会社シマノとの共同開発商品の「探見丸（遊漁船用魚探システム）」が好調に推移しました。

漁船市場は、国内では引き続き厳しい状況が続く、海外でも欧州で需要が低迷し、特にソナーの売上が減少しました。

この結果、船用電子機器の売上高は281億3千5百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

新商品紹介



球形ソナー「FSV-30」

低周波球形スキャニングソナー「FSV-30」は、優れた遠距離探知性能を持ち、強い波による船体動揺の影響を受けない安定した映像、自船直下まで探知可能な垂直断面スキャンを実現しています。

また、水平スキャン2画面同時更新表示によって、探知洩れをなくし魚群形状や魚量推定に有効な情報を提供します。

さらに、送受信装置の大幅な小型化を実現し、装備性の向上と対象漁船の拡大に寄与しており、今後の拡販が期待されます。

インマルサット（衛星通信装置）「FELCOM70」

インマルサットは、静止衛星を経由して行う通信方法で、最近の船舶通信の主たる手段です。

「FELCOM70」は、従来の音声、FAX、データ通信サービスに加えて新たにデータ量に応じて課金するMPDS（モバイルパケットデータサービス）が利用できるため通信時間を気にすることなくメールやWEB閲覧が利用しやすくなりました。

アンテナは小型軽量化を実現し、装備性が向上したため、従来より小型の船舶にも搭載可能となりました。



事業報告

産業用電子機器

事業概況

産業用電子機器部門においては、GPS関連では、カーナビゲーション向けGPSコア及び携帯電話基地局向け周波数発生装置などが引き続き好調に売上を伸ばし、OEM関連では産業用ロボット制御機器が売上を伸ばしました。また、医療用機器分野では、骨密度計ならびに中小型の生化学分析装置の売上が減少しましたが、大型分析装置が売上を伸ばしました。

この結果、産業用電子機器の売上高は、95億1千6百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

新商品紹介

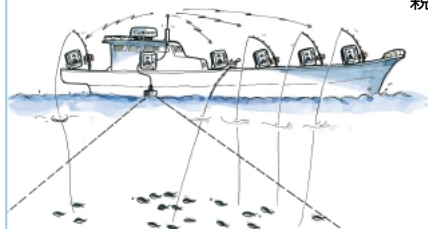
海底地形探査装置「HS-600F」



海底地形探査装置「HS-600F」は、海底マップ作成上、重要な意味を持ちます。海上空港建設の際の浚渫（しゅんせつ）作業、海底岩盤の硬さ、などの計測には欠かせない装置です。この製品では、超音波技術を駆使し、3次元映像で処理しています。これにより、より正確でリアルな海底地形の把握が可能になり、様々な作業、船舶航行に役立っています。

フルノの豆知識⑤

探見丸の仕組みについて



世界初! 船ペリで魚探映像を直視できる!遊漁船用「探見丸システム」 ～(株)シマノと古野電気的共同プロジェクトで開発～

「探見丸システム」は、遊漁船や乗合船上で、釣り人が船ペリで魚群探知機映像を見ることができるまったく新しい遊漁船用魚探システムです。

このシステムは、遊漁船のブリッジ内に魚探の親機を設置し、親機が探知した魚群情報を無線で発射します。この無線信号を船ペリに取り付けた魚探の子機でキャッチすることにより、子機の画面上に親機と同じ魚探映像を表示できるというものです。

親機は本船に装備しますが、子機は釣り人専用モニターとして使えます。「探見丸システム」導入の遊漁船であれば、釣り人が持ち込む子機の画面に魚探映像を表示できます。



「探見丸」システムの活用で、船釣りの新たな楽しみがさらに広がります。すでに全国の遊漁船、乗合船に装備されており、多くの釣り人に活用されています。

トピックス

商船向け展示室改装



西宮本社にあります大型外航商船用のINS（統合航海システム）展示室を新商品発売に合わせてリニューアルしました。

新商品名「VOYAGER=ボイジャー」は、レーダーシミュレーターと3面大型プラズマディスプレイをドッキングさせ、本格的な模擬操船シミュレーションを実現しています。新型VOYAGERは、電子海図システム、自動衝突予防援助レーダー、トラックパイロット、DGPS受信装置など最新鋭の技術を結集させたシステム構成であり、キーボード部は、人間工学に基づく操作性最優先のキーレイアウト、外観も曲線ラインの斬新なボディーフォルムになっています。

この展示室は、単に商品案内にとどまらず、乗組員の方々の操船研修にも活用されるなど、商船向け事業分野の発展に欠かせない設備となっています。

DNA事業へ進出



システム機器事業部は、米国バイオベンチャー企業の一つコンビメートリックス社（COMBIMATORIX、ワシントン州）とベンチ・トップ型DNAマイクロアレイ・シンセサイザー（BTS）装置の共同開発締結を行い、DNAマイクロアレイ合成装置事業に進出することになりました。

開発するBTS装置は、コンビメートリックス社が特許権所有する半導体ベースのDNAマイクロアレイ（DNAチップ）上に電気化学合成技術を使い、任意のDNA（オリゴヌクレオチド）を短時間で合成できるものです。

これにより、研究者が検出したい遺伝子を、自由に設定できるDNAマイクロアレイを短時間に且つ安価に作る事が可能になります。

これは当社の医療機器関連技術の高さを証明するもので、今後の医療機器分野の発展に大きく寄与するものと期待されます。

飯野常務取締役、紫綬褒章受章



今年の春の褒章において、飯野博司(常務取締役)が、紫綬褒章受章の栄に浴しました。今回の受章は、氏が取り組んだ「ソナーのマッチドフィルター式ビーム形成技術の開発」に対するもので、スキャンングソナーの小型・低コスト・高性能化を実現し、小型漁船への搭載が可能となり、水

産業の発展と航行の安全性向上に貢献したことが評価されたものです。これを機に、技術のフルノとして、一層の研鑽を積み、社会に貢献できる企業として日々邁進してまいります。

軽音楽部、各地でひっぱりだこ



軽音楽部は、最近社内外で、精力的に演奏会を開催しています。先日も阪神大震災で被災した神戸市長田区で演奏会を実施し、好評を博しました。

こうした活動を通じフルノ軽音楽部は、今や阪神地区では多くの方々に喜ばれています。

(今年の活動実績)

- 4/29(木) 老人ホーム「緑風苑」ボランティア演奏会
- 6/11(金) 飯野常務 紫綬褒章受章記念式典 演奏 (宝塚ホテル)
- 8/5(木) 社内サマーコンサート
- 10/11(月) 新西宮ヨットハーバー 震災復興マリンフェスタ出演
- 10/16(土) 神戸市新長田本町筋商店街 大陶器市ステージイベント出演

連結決算の概況

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)	科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	54,897	56,966	57,501	流動負債	28,385	30,098	30,562
現金及び預金	11,451	15,066	15,848	支払手形及び買掛金	11,509	13,999	12,457
受取手形及び売掛金	21,921	21,131	20,181	短期借入金	8,262	7,426	8,377
たな卸資産	19,589	17,979	18,261	1年以内返済予定長期借入金	3,386	2,230	3,096
繰延税金資産	1,209	1,835	1,884	その他	5,227	6,441	6,631
その他	1,027	1,198	1,569	固定負債	16,065	14,958	15,993
貸倒引当金	△ 300	△ 244	△ 245	社債	1,450	1,186	1,318
固定資産	17,182	18,900	17,935	長期借入金	5,714	4,158	5,361
有形固定資産	9,110	9,358	9,241	退職給付引当金	7,595	8,219	7,945
建物及び構築物	4,238	4,251	4,191	その他	1,305	1,395	1,369
土地	3,241	3,234	3,233	負債合計	44,451	45,056	46,556
その他	1,630	1,872	1,815	少数株主持分	335	361	387
無形固定資産	586	605	633	(資本の部)			
投資その他の資産	7,485	8,935	8,059	資本金	7,534	7,534	7,534
投資有価証券	2,222	2,770	2,469	資本剰余金	10,073	10,073	10,073
繰延税金資産	2,272	2,745	2,495	利益剰余金	9,870	13,203	11,397
その他	3,537	3,910	3,625	その他有価証券評価差額金	294	614	497
貸倒引当金	△ 547	△ 490	△ 531	為替換算調整勘定	△ 394	△ 873	△ 916
資産合計	72,079	75,866	75,436	自己株式	△ 86	△ 104	△ 93
				資本合計	27,291	30,448	28,492
				負債、少数株主持分及び資本合計	72,079	75,866	75,436

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)
売上高	35,667	37,651	68,628
売上原価	22,780	24,263	43,487
売上総利益	12,886	13,388	25,141
販売費及び一般管理費	9,775	10,350	19,885
営業利益	3,110	3,037	5,255
営業外収益	321	503	633
受取利息及び配当金	82	91	153
その他	238	412	479
営業外費用	353	421	1,555
支払利息	136	95	250
その他	217	325	1,305
経常利益	3,079	3,119	4,332
特別利益	30	36	128
特別損失	93	—	118
税金等調整前中間(当期)純利益	3,016	3,156	4,342
法人税、住民税及び事業税	1,284	1,357	1,946
法人税等調整額	△ 42	△ 290	△ 1,089
少数株主利益	52	40	110
中間(当期)純利益	1,721	2,048	3,374

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	3,016	3,156	4,342
減価償却費	533	622	1,141
貸倒引当金の増減額	20	△ 40	△ 43
退職給付引当金の増加額	175	273	525
役員退職慰労引当金の増減額	△ 1,069	33	△ 1,024
受取利息及び受取配当金	△ 82	△ 91	△ 153
支払利息	136	95	250
固定資産除却損	3	18	41
投資有価証券評価損	3	—	3
売上債権の増加額	△ 2,293	△ 1,062	△ 730
たな卸資産の増減額	△ 805	271	131
仕入債務の増減額	△ 521	1,550	861
役員賞与の支払額	△ 78	△ 83	△ 78
その他	△ 17	218	611
小計	△ 979	4,963	5,877
利息及び配当金の受取額	82	91	147
利息の支払額	△ 135	△ 101	△ 249
法人税等の支払額	△ 565	△ 1,474	△ 947
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,598	3,479	4,828
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 267	△ 676	△ 874
定期預金の払戻による収入	—	471	171
投資有価証券の取得による支出	△ 351	△ 108	△ 351
投資有価証券の売却による収入	554	11	653
その他投資にかかる支出	△ 182	△ 473	△ 483
その他投資の回収による収入	416	388	557
有形固定資産の取得による支出	△ 477	△ 734	△ 1,241
有形固定資産の売却による収入	42	49	65
無形固定資産の取得による支出	△ 74	△ 60	△ 215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 340	△ 1,133	△ 1,718
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	△ 623	△ 939	△ 463
長期借入による収入	1,350	300	1,600
長期借入金の返済による支出	△ 3,498	△ 2,368	△ 4,388
社債の発行による収入	1,450	—	1,450
社債の償還による支出	—	△ 132	△ 132
自己株式の取得による支出	△ 4	△ 11	△ 11
配当金の支払額	△ 110	△ 158	△ 237
少数株主への配当金の支払額	△ 34	△ 58	△ 34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,472	△ 3,367	△ 2,217
現金及び現金同等物にかかる換算差額	96	11	△ 245
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,314	△ 1,009	646
現金及び現金同等物の期首残高	14,135	15,026	14,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	244	—	244
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	11,065	14,016	15,026

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております

単独決算の概況

単独貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)	科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	36,982	37,427	36,999	流動負債	17,869	20,159	18,967
現金及び預金	4,664	8,021	9,297	支払手形	4,679	3,772	3,344
受取手形	2,615	3,683	2,438	買掛金	6,081	9,135	7,538
売掛金	14,678	11,993	11,333	1年以内返済予定長期借入金	3,321	2,165	3,031
たな卸資産	10,459	10,328	9,677	賞与引当金	888	1,003	1,030
繰延税金資産	864	1,032	951	その他	2,899	4,082	4,022
貸付金	3,086	1,664	2,269	固定負債	13,989	12,897	13,896
その他	644	718	1,055	社債	1,450	1,186	1,318
貸倒引当金	△ 29	△ 14	△ 22	長期借入金	4,560	3,070	4,240
				退職給付引当金	7,388	7,992	7,726
固定資産	16,070	18,173	17,447	その他	590	648	611
有形固定資産	5,871	6,332	6,202	負債合計	31,859	33,056	32,863
建物	2,220	2,337	2,262	(資本の部)			
機械及び装置	151	277	292	資本金	7,534	7,534	7,534
工具・器具及び備品	721	887	890	資本剰余金	10,073	10,073	10,073
土地	2,652	2,652	2,652	資本準備金	10,073	10,073	10,073
その他	126	178	104	利益剰余金	3,395	4,453	3,599
無形固定資産	255	317	342	利益準備金	617	617	617
投資その他の資産	9,942	11,523	10,902	任意積立金	1,690	2,390	1,690
投資等	8,226	9,333	8,979	中間(当期)未処分利益	1,087	1,445	1,291
繰延税金資産	2,080	2,538	2,291	その他有価証券評価差額金	276	588	469
貸倒引当金	△ 363	△ 348	△ 368	自己株式	△ 86	△ 104	△ 93
				資本合計	21,193	22,544	21,583
資産合計	53,053	55,600	54,447	負債及び資本合計	53,053	55,600	54,447

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております

単独損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期中間期末 (平成15年8月31日現在)	第54期中間期末 (平成16年8月31日現在)	第53期末 (平成16年2月29日現在)
経常損益の部			
営業損益の部			
売上高	27,561	29,445	53,929
売上原価	20,123	21,478	39,741
売上総利益	7,437	7,966	14,188
販売費及び一般管理費	5,903	6,483	12,073
営業利益	1,534	1,483	2,114
営業外損益の部			
営業外収益	332	469	814
受取利息及び配当金	119	170	361
その他	213	299	452
営業外費用	280	357	922
支払利息	82	54	149
その他	197	302	773
経常利益	1,585	1,595	2,006
特別損益の部			
特別利益	59	24	85
特別損失	73	—	97
税引前中間(当期)純利益	1,571	1,620	1,994
法人税、住民税及び事業税	622	957	1,145
法人税等調整額	32	△ 409	△ 397
中間(当期)純利益	916	1,072	1,246
前期繰越利益	171	373	171
中間配当額	—	—	126
中間(当期)未処分利益	1,087	1,445	1,291

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております

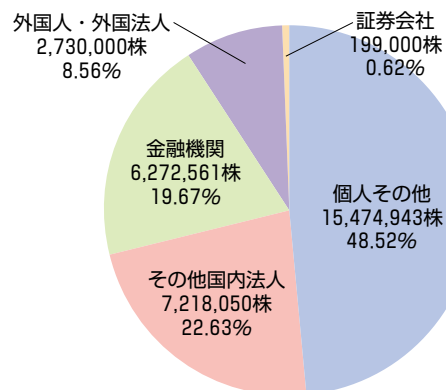
株式の概況 株式状況

2004/08/31現在

会社が発行する株式の総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
株主数	3,789名

株式分布状況

2004/08/31現在



※個人その他には自己名義株式281,135株(0.9%)を含みます。

役員

役員構成

代表取締役社長	古野 清之
代表取締役副社長	木谷 賀勇
専務取締役	古野 幸男
常務取締役	谷垣 英敏
常務取締役	飯野 博司
常務取締役	小西 貞一郎
取締役	小林 規男
取締役	森 博行
取締役	西川 公平
監査役(常勤)	鶴崎 公二
監査役(常勤)	井上 義一
監査役	家近 正直

株主メモ

決算期	毎年2月末日	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
定時株主総会	毎年5月下旬		みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
配当金支払基準日	毎年2月末日と8月末日		
名義書換代理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	公告掲載新聞	日本経済新聞
		上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第一部
1単元の株式の数	1,000株		
郵便物送付先	〒135-8722		
電話お問い合わせ先	東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-3642-4004(大代表)		

会社概要

社名	古野電気株式会社	設立	昭和26年5月23日
所在地(本社)	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号 電話 0798-65-2111(代表)	資本金	7,534,542,650円
(東京支社)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地6 神田和泉町亜細亜ビル 電話 03-5687-0411(代表)	従業員数	1,382名(平成16年8月31日現在)
		ホームページ	http://www.furuno.co.jp/

事業所

本社	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号	電話 0798-65-2111(代表)
支社	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地6 神田和泉町亜細亜ビル	電話 03-5687-0411(代表)
工場	〒673-0443 三木市別所町巴1番地	電話 0794-82-9211
INTセンター	〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜2丁目20番	電話 0798-33-7500

国内販売拠点 東京・広島・銚子・焼津・フルノ西日本販売(株)(長崎・奈良・五島・佐世保・福岡・対馬・下関・萩)・フルノ南日本販売(株)(宮崎・大分・延岡・鹿児島・沖縄・阿久根)・フルノ関西販売(株)(伊勢・名古屋・神戸・田辺・徳島・金沢・小木・境港・香住・高知・宇和島)・フルノ北日本販売(株)(札幌・函館・稚内・枝幸・釧路・根室・石巻・気仙沼・宮古・塩釜・八戸)

海外駐在所 アメリカ・デンマーク・フィンランド・ギリシャ・スペイン・シンガポール・中国